

# 謹賀新年

江別市長  
後藤 好人

Goto  
Yoshihito



新年あけましておめでとう  
ございます。

市民の皆さまには、ご家族  
とともに健やかに新年をお迎  
えのことと心からお慶び申し  
上げます。また、市政各般に  
深いご理解と温かいご支援  
ご協力を賜り、厚くお礼申し  
上げます。

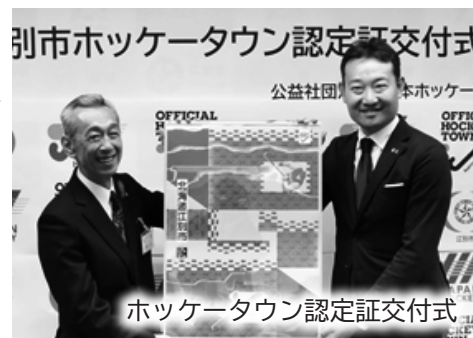
振り返りますと、昨年は米  
国の通商政策などの影響によ  
る世界的な経済の変動や、食  
料品を始めとした物価の高騰  
夏の記録的な猛暑などが、市  
民生活や地域経済にさまざま  
な影響を及ぼした1年でした。  
そして、社会のさまざまな  
分野で人工知能の活用が急速  
に進むなど、デジタル化が一  
層進展した年でもありまし  
た。当市でも、市民サービス  
の更なる向上と窓口業務の効  
率化のため、3月に情報図書  
館で本のセルフ貸出機を導入  
したほか、10月には本庁舎の  
戸籍住民課や大麻出張所など  
の証明交付窓口でキャッシュ  
レス決済を導入しました。

7月には、多様な就労相談  
を受け付け、一人一人の状況  
に合わせた就労支援を行うた  
め、市内各所で開設していた  
4つの就労相談窓口を1カ所  
に集約した総合的な就労相談

窓口「ワークサポートえべつ」  
を開設しました。

スポーツ関連では、道内唯  
一の日本ホッケー協会公認の  
ホッケー場がNOPPORO  
ヤシマ商会スポーツパークに  
あり、道内のホッケー競技の  
活動の拠点となっていること  
から、当市が「公式ホッケー  
タウン」に認定されました。

また、北海道日本ハムファ  
イターズが、ファーム施設の道  
内移転構想を発表したことを  
受けて、当市としてもプロジェ  
クトチームを立ち上げ、誘致  
に向けた取り組みを開始しま  
した。11月に開催された東京  
2025デフリンピックでは、  
バスケットボール男子に江別  
ワイルドボアーズ所属の手塚  
清貴選手が出場されたほか、  
卓球女子団体では当市在住の



木村亜美選手が銀メダルを獲  
得、バレーボール女子では北  
翔大学を卒業された石原美海  
選手が金メダルを獲得するな  
ど、当市に縁のある選手が活  
躍し、多くの市民に感動と勇  
気を与えていただきました。

脱炭素社会の実現に向けた  
取り組みとしましては、当市  
が目指す「ゼロカーボンシ  
ティ」の実現に向けて、市内  
事業所から排出される温室効  
果ガスの削減を図ることを目  
的として、当市と株式会社北  
洋銀行、株式会社Sustech  
の三者で連携協定を締結  
しました。

本年は、まちづくりの指針  
である「えべつ未来づくりビ  
ジョン」第7次江別市総合計  
画の3年目を迎えます。さら  
なる飛躍を目指し、これまで

取り組んできた人口減少対策  
をはじめとする重要な課題へ  
の対応を加速させ、将来都市  
像である「幸せが未来へつづ  
くまち えべつ」を目指して、  
未来に誇れるまちづくりに努  
めてまいります。また、「江別  
市子どもが主役のまち宣言」  
の理念に基づき、全ての子ど  
もが、健やかに育ち、学び、  
笑顔で暮らせるよう、子ども  
の気持ちや権利を尊重しなが  
ら、子どもにやさしいまちづ  
くりを進めてまいります。

市立病院では、現在見直し  
を進めている「江別市立病院  
経営強化プラン」に基づき、  
地域医療提供体制を確保しつ  
つ、より一層の経営強化を図  
ります。

新しい年も、市民の皆さま  
と力を合わせ、子育て・教育  
環境の充実や、地域経済の活  
性化、ゼロカーボンシティ、  
デジタル化の推進に向けた取  
り組みなどを着実に進め、ま  
ちの魅力を高めてまいります  
ので、引き続きご理解とご協  
力を賜りますようお願い申し  
上げます。

新たな年が市民の皆さまに  
とって笑顔あふれる1年とな  
りますよう、心からお祈り申  
し上げます。



江別市議会議長  
野村 尚志

Nomura  
Hisashi

# 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとう  
ございます。

市民の皆さまには日頃より  
市議会の活動に対し深いご理解  
とご協力を賜り、厚くお礼  
を申し上げます。

昨年6月、議会は議員任期  
の折り返しを迎え、議長と副  
議長が交代したほか、委員会  
構成も変わり、新体制の下、  
気持ちも新たに議会活動に取り  
組んでおります。

また、本年4月には、生活  
福祉常任委員会と経済建設常  
任委員会の所管を見直し、そ  
れに合わせた委員会名称の変  
更も予定しており、引き続き、  
より効果的かつ効率的な議会  
運営を目指して努力してまい  
ります。

さて、全国的には、深刻な  
少子高齢化が進んでおります  
が、当市は、昨年まで7年連  
続で、14歳以下の年少人口の  
転入超過数が全国20位以内に  
入ることができました。これ  
は近年、市内において一定程  
度の宅地造成が進められ、子  
育て世帯の転入が増えている  
ことや、これまで市が進めて  
きた、充実した子育て施策が  
身を結んだものと考えており  
ます。

今後、江別市にも本格的な

少子高齢化や人口減少の波が  
押し寄せてくることが想定さ  
れますが、第7次江別市総合  
計画に掲げる将来都市像「幸  
せが未来へつづくまち えべ  
つ」の実現のため、計画3年  
目を迎える本年も、引き続き  
議会としてしっかりと各事業  
の進捗状況をチェックしてま  
いります。

ここ数年、市民生活に影響  
を及ぼし続けている物価の高  
騰は深刻さを増しております  
が、議会では定例会や臨時会  
の中で、物価高騰の影響を強  
く受ける住民税非課税世帯な  
どに対する給付金や、食材費  
などの高騰の影響を受ける学  
校給食原材料費高騰対策事業  
などの予算を議決するなど、  
各種の対応を進めてきたとこ  
ろです。

このほかにも、市立病院の  
経営健全化をはじめ、防災・  
減災対策、公共施設の老朽化  
対策など、市が抱えるさまざ  
まな課題に対しても、真摯に  
向き合い、常に市民の皆さま  
の声に耳を傾けながら、議会  
としての役割をしっかりと果  
たしてまいります。

これまで、議会では、議会  
の在り方や議会基本条例の理  
念を具現化するための検討を

重ね、議会改革に向けたさま  
ざまな協議を進めてきまし  
た。一例を挙げますと、昨年  
からは、各常任委員会が更な  
る取り組みが必要と判断した  
課題について、計画・立案・  
実施・評価・見直しという一  
連の流れで取り組む政策形成  
サイクルを構築し、現在市長  
への政策提言に向けて取り組  
んでおります。

また、市民の皆さまにとつ  
て身近に感じられる開かれた  
議会を目指し、より幅広く、  
多くの皆さまと意見を交わす  
ことができるよう、これまで  
の開催形式を見直し、今後は  
出張型の市民と議会の集いを  
実施することとしました。

新たな市民と議会の集いに  
ご期待ください。

本年4月に、私も議員は  
任期の最終年度を迎えます。  
議員として、より一層の資質  
の向上に努め、皆さまからの  
負託に応えるべく、誠心誠意  
力を尽くしてまいりますの  
で、変わらぬご支援とご協力  
をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が市民の  
皆さまにとって、希望に満ち  
た幸多き年となりますよう、  
祈念申し上げます。

